

就労継続支援 A 型事業所における地域連携活動実施状況報告書

事業所名	株式会社ラグーナ出版	事業所番号	4610101851
住 所	鹿児島市西千石町 3 番 2 6 号 3 階	管理者名	森越まや
電話番号	099-219-9750	対象年度	2022年度

地域連携活動の概要

<p><活動内容></p> <p>1)出版活動では、利用者主導でつくる定期刊行雑誌「シナプスの笑い」(年3回)を刊行。企画立案、編集会議、デザイン、販促活動、納品、事務処理に対象者がかかわっている。メンタルヘルス、障害者雇用、自費出版本を刊行。地域連携ではイベントへの参加、制作では印刷所、営業では書店・取次との商談等に利用者がかかわっている。</p> <p>2)鹿児島の官公庁、大学、病院、一般企業から、名刺、冊子、記念誌等、リーフレット等を受注。受注、利用者業務はデザイン、制作、検品、納品、事務処理。</p> <p>3)イベントではパンマルシェ2022、へらかぶフェスタ、南九州出版フェア、友愛フェスティバルなど一般から福祉の12の大会に参加。利用者は会場設営、販売、事務処理にかかわっている。</p> <p><目的></p> <p>コロナによる外出制限の中、参加できるイベントには参加した。利用者には、人や地域とのつながりを失い、自己効力感(自分は役に立っているという感覚)が低い方が多い。それぞれが強みを生かすことで、人や地域とつながることでこの感覚を取り戻すことを目的とした。地域の方々との温かな交流を通し、地域の方々のメリットはメンタルヘルス への理解、実際に会うことで偏見の解消、利用者のメリットは地域における役割の自覚、地域貢献しているという意識、仕事を通じた安定した生活が病気の回復に役立っていることである。</p> <p><成果></p> <p>各部署の業務を分解し、本人の強みに応じて適材適所に配置すること、体力(体、頭、気、薬の疲れ具合)に応じた勤務時間数を個別に相談するなかで、スタッフも利用者も病の回復が業務内容、勤務時間数で確認できるようになった。また、地域における役割を理解することで、感謝の心と自信が深まった。コロナで落ち込んだ売り上げも徐々に回復し、出版、名刺・小冊子制作、製本すべての部門において収益アップにつながった。本年も地域精神医療について患者、専門家両方の視点から考えた本、郷土本などを刊行する。</p>	<p><活動の様子></p> <p>以下の弊社フェイスブックにて、利用者の日々の思いや活動、地域交流の様子を記載しています。ご覧ください。 https://ja-jp.facebook.com/LagunaPublishing/</p>
--	--

連携先の企業等の意見または評価

<p>当社は創業54年の地域密着型印刷所です。10年前から、ラグーナの社員、利用者のみなさんとは、お互いの得意分野を生かして、パンフレット、リーフレット、チラシ、書籍、論集等を共同で制作し、企業、病院、官公庁に納品しています。納品先の評価も高く、福祉事業所というよりよきパートナーとして信頼しています。個別の仕事では、社員、利用者ともメールや対面で接していますが、DTPの知識があり、説明が的確で、分かりやすいためスムーズなやり取りができています。</p> <p>課題は、コロナによるイベントの中止からの回復にいかに対応するか、原材料の高騰による価格の上昇のなかに顧客を獲得するか、です。相談の上、適切な価格を設定し、品質とサービスで地域の方々への貢献できるように取り組んでいきます。</p>			
連携先企業名	創文社印刷	担当者名	会長 迫田真雄

就労継続支援A型事業所におけるスコア表（全体）

事業所名	株式会社ラグーナ出版
住所	鹿児島市西千石町3番26号
電話番号	099-219-9750

事業所番号	4610101851
管理者名	森越 まや
対象年度	2022年度

(I) 労働時間	
①1日の平均労働時間が7時間以上	45 点
②1日の平均労働時間が6時間以上7時間未満	
③1日の平均労働時間が5時間以上6時間未満	
④1日の平均労働時間が4時間30分以上5時間未満	
⑤1日の平均労働時間が4時間以上4時間30分未満	
⑥1日の平均労働時間が3時間以上4時間未満	
⑦1日の平均労働時間が2時間以上3時間未満	
⑧1日の平均労働時間が2時間未満	

①80点 ②70点 ③55点 ④45点 ⑤40点 ⑥30点 ⑦20点 ⑧5点

(II) 生産活動	
①前年度及び前々年度の各年度における生産活動収支がそれぞれ当該各年度に利用者に支払う賃金の総額以上	40 点
②前年度及び前々年度における生産活動収支のうち前年度における生産活動収支のみが前年度に利用者に支払う賃金の総額以上	
③前年度及び前々年度における生産活動収支のうち前々年度における生産活動収支のみが前々年度に利用者に支払う賃金の総額以上	
④前年度及び前々年度の各年度における生産活動収支がいずれも当該各年度に利用者に支払う賃金の総額以上ではない	

①40点 ②25点 ③20点 ④5点

(III) 多様な働き方（※）	
①免許・資格取得、検定の受検勧奨に関する制度	○
就業規則等で定めている 就業規則等で定めており、前年度の実績がある	
②利用者を職員として登用する制度	○
就業規則等で定めている 就業規則等で定めており、前年度の実績がある	
③在宅勤務に係る労働条件及び服務規律	○
就業規則等で定めている 就業規則等で定めており、前年度の実績がある	
④フレックスタイム制に係る労働条件	○
就業規則等で定めている 就業規則等で定めており、前年度の実績がある	
⑤短時間勤務に係る労働条件	○
就業規則等で定めている 就業規則等で定めており、前年度の実績がある	
⑥時差出勤制度に係る労働条件	○
就業規則等で定めている 就業規則等で定めており、前年度の実績がある	
⑦有給休暇の時間単位取得又は計画的付与制度	○
就業規則等で定めている 就業規則等で定めており、前年度の実績がある	
⑧傷病休暇等の取得に関する事項	○
就業規則等で定めている 就業規則等で定めており、前年度の実績がある	
小計（注1）	10

（※）任意の5項目を選択すること （注1）8以上：35点、6～7：25点、1～5：15点

(IV) 支援力向上（※）	
①研修計画に基づいた外部研修会又は内部研修会	○
参加した職員が1人以上半数未満であった 参加した職員が半数以上であった	
②研修、学会等又は学会誌等において発表	○
1回の場合 2回以上の場合	
◎ ③視察・実習の実施又は受け入れ	○
いずれか一方のみの取組を行っている いずれの取組もを行っている	
◎ ④販路拡大の商談会等への参加	○
1回の場合 2回以上の場合	
⑤職員の人事評価制度	25 点
人事評価結果に基づき定期に昇給を判定する制度を設け、全ての職員に周知している	
⑥ピアサポーターの配置	○
ピアサポーターを職員として配置している	
⑦第三者評価	○
過去3年以内の福祉サービス第三者評価を受審しており、結果を公表している。	
⑧国際標準化規格が定めた規格等の認証等	7 点
都道府県知事が適当と認める国際標準化規格が定めた規格その他これに準ずるものの認証を受けている	
小計（注2）	7

（※）任意の5項目を選択すること （注2）8以上：35点、6～7：25点、1～5：15点

(V) 地域連携活動	
地域の事業者と連携した付加価値の高い商品開発、企業や官公庁等での生産活動等地域社会と連携した活動を行い、その結果をインターネット等により公表している	○
1事例以上ある場合	10 点

項目	点数								
労働時間	5点	20点	30点	40点	45点	55点	70点	80点	45
生産活動	5点	20点	25点	40点	40点				40
多様な働き方	0点	15点	25点	35点	35点				35
支援力向上	0点	15点	25点	35点	25点				25
地域連携活動	0点	10点	10点	10点	10点				10

合計	155	点	/ 200点
----	-----	---	--------

就労継続支援 A 型事業所におけるスコア表（実績 I～IV）

(I) 労働時間

前年度（2021年度）

雇用契約を締結していた全ての利用者における延べ労働時間	24,977	時間	雇用契約を締結していた延べ利用者数	5,537	人	利用者の1日の平均労働時間数	5	時間
-----------------------------	--------	----	-------------------	-------	---	----------------	---	----

(II) 生産活動

会計期間（8月～7月）

前々年度（2020年度）

生産活動収入から経費を除いた額	30,070,280	円	利用者に支払った賃金総額	21,505,555	円	収支	8,564,725	円
-----------------	------------	---	--------------	------------	---	----	-----------	---

前年度（2021年度）

生産活動収入から経費を除いた額	27,644,839	円	利用者に支払った賃金総額	21,598,061	円	収支	6,046,778	円
-----------------	------------	---	--------------	------------	---	----	-----------	---

(III) 多様な働き方

前年度（2022年度）における実績（全体表「(III) 多様な働き方」の各項目において「就業規則等で定めており、前年度の実績がある」と選択した場合に実績を記載）

①免許・資格取得、検定の受検勧奨に関する制度

◎免許・資格取得、検定の受検勧奨に関する制度を活用した人数 2名

※取得を進めた免許等：精神保健福祉士
介護士

制度の活用内容：
1) 精神保健福祉士専門学校（通信制）受講
2) 介護福祉士実務者研修受講

②利用者を職員として登用する制度

◎職員として登用した人数 名

◎うち1名は雇用継続期間が6月に達している

◎うち1名は前年度末日まで雇用継続している

※登用した日：●年 ●月 ●日

勤務形態：○○○

就業時間：●時●分～●時●分

職務内容：○○○

③在宅勤務に係る労働条件及び服務規律

◎在宅勤務を行った人数 1名

※実施した期間：4月2日～5月28日

就業時間（在宅勤務）：13時～16時

職務内容：販促先リスト、顧客リスト作成

④フレックスタイム制に係る労働条件

◎フレックスタイム制を活用した人数 27名

※実施した期間：2022年4月1日～2023年3月31日

就業時間（コアタイム）：9時00分～17時00分の時間内

職務内容：上記時間内において、毎月末、体力等の話し合いの後翌月の勤務時間、日数、始業、終業の時間を決めている。

⑤短時間勤務に係る労働条件

◎短時間勤務に従事した人数 27名

※実施した期間：2021年4月1日～2023年3月31日

就業時間（短時間）：9～12時、13時～16時

職務内容：上記時間で、毎月末、体力等の話し合いの後勤務時間を決めている。編集、制作、営業、事務部。

⑥時差出勤制度に係る労働条件

◎時差出勤制度を活用した人数 名

※実施した期間：●月●日～●月●日

就業時間（早出の場合）：●時●分～●時●分

就業時間（遅出の場合）：●時●分～●時●分

職務内容：○○○

⑦有給休暇の時間単位取得又は計画的付与制度

◎時間単位取得を活用した人数 33名

◎計画的付与制度を活用した人数 33名

※取得した制度：有給休暇の時間単位取得
計画的付与制度

取得した期間：2022年4月1日～2023年3月31日

取得日数・時間：就業規則に応じた有給日数を全員に付与し計画的に取得した。

⑧傷病休暇等の取得に関する事項

◎傷病休暇等を取得した人数 3名

※取得した内容：入院及び自宅療養のため

※実施した期間：2021年4月1日～2023年3月31日

就業時間：9時～12時

職務内容：編集部

(※) 当該制度等を活用した任意の1名の実績を記載

(IV) 支援力向上

前年度（2022年度）における実績（全体表「(IV) 支援力向上」の各項目の取組ありとした場合に実績を記載）

①研修計画に基づいた外部研修会又は内部研修会

◎研修計画を策定している

◎研修実施回数 外部 0回/内部 6回

対象職員数 7人
うち研修受講者数 7人

※研修名：感染症対策、虐待防止、就労生活支援など

研修講師：森越、川畑

実施日・受講：隔月第1火曜日4時～5時

②研修、学会等又は学会誌等において発表

◎研修、学会等又は学会誌等において発表している回数 3回

※研修、学会等名

実施日 6月、10月、2月の各20日

※学会誌等名 シナプスの笑い43～45号

掲載日 6月、10月、2月の各20日

発表テーマ 当事者の視点から統合失調症を読み解く

③視察・実習の実施又は受け入れ

◎先進的事業者の視察・実習の実施している

◎他の事業所の視察・実習を受け入れている

※先進的事業者名

実施日/参加者数

※他の事業所名 フレンズFM、NHK、KTS、南日本新聞、鹿児島国際大、鹿児島大学、志学館大学、人を大切に経営学会関連一般企業20社、保健所など。

④販路拡大の商談会等への参加

◎販路拡大の商談会等への参加回 ※下記参照

※商談会等名 1) 定期商談 2) 部決商談 3) 出版商談

主催者名 1) 共同受注センター 2) 取次書店 4) 著者

日時 1) 月～5回 2) 新刊時 5) 依頼時

内容 1) 名刺、冊子、フライヤー等の商談。
2) 書籍配本数 3) 見積書作成。

⑤職員の人事評価制度

◎職員の人事評価制度を整備している

◎当該人事評価制度を周知している

人事評価制度の制定日 ●年 ●月 ●日

人事評価制度の対象職員数 ●名

うち昇給・昇格を行った者 ●名

当該人事評価制度の周知方法
○○○

⑥ピアサポーターの配置

◎ピアサポーターを配置している

◎当該ピアサポーターは「障害者ピアサポート研修」を受講している

※配置期間 ●月●日～●月●日

就業時間
職務内容 ○○○

⑦第三者評価

◎前年度末日から過去3年以内に福祉サービス第三者評価を受けている

※評価を受けた日 ●月 ●日

第三者評価機関 ○○○

⑧国際標準化規格が定めた規格等の認証等

◎国際標準化規格が制定したマネジメント規格等の認証を受けている

※認証を受けた日 ●月 ●日

規格等の内容 ○○○

(※) 実績のうち1事例を記載

各項目について適宜、実績がわかる情報を追加すること。
必要に応じて行を増やす等、